

平成30年度 学校関係者評価委員会 評価報告書

開催日時：平成30年5月31日（木）20：00～22：00

開催場所：札幌青葉鍼灸柔整専門学校 柔整棟2階会議室

出席者：吉田重光 岩倉淳 木下重人 松田心一 岸野庸平 関克彦 水上弘祥
吉田真人 渡辺潤

以下、別紙（平成29年度 自己評価報告書）をもとに協議した。

基準1 教育理念・目的・育成人材像について

- ・ 実習先の確保は重要であるが、「実習先」をどのような治療院にするかについても重要と考える
- ・ コンサドーレのトレーナー活動など、新しい視点でやるのはいいと思う。
- ・ コンサドーレのトレーナーは学生にとってハードルが高いのでは、小中高の部活やアマチュアのトレーナーとして参加させるのはどうか。
- ・ トレーナー部は外部講師を雇ったらどうか。
- ・ 介護・福祉分野については人材発掘が必要と考える。
- ・ 介護・福祉分野を学校側でおこなうためには、しっかり教える担当者が必要である。
- ・ 予防医学教育が役に立つ。
- ・ 将来的な収入のことも考えてあげた方がよいのではないか。
- ・ 鍼灸の教育は、古典的鍼灸+美容鍼+トレーナーだけで良いのか。
- ・ 古典的な鍼灸教育からスポーツ、美容、機能訓練など育成する人材の明確化を求める。
- ・ 卒業後に、高収入を得られるビジネスモデルの構築が必要。
- ・ 介護施設の立ち上げはお金になるだろうがどうしようもない。
- ・ 機能訓練指導員の基本教育くらいは必要。
- ・ コンサドーレ等のプロスポーツのみならず、中学・高校・大学のアマチュアスポーツも視野に入れるべき（学生確保の先行投資としても）

基準2 学校運営

- グループ校の合同模試に参加しているが、問題の内容等に課題がある。
- 合同模試（5校）は、グループ校の中での自分の学力が把握できるので良い。
- 合同模試は、他校の問題作成レベルに疑問が残る。
- 美容鍼灸などを、もっとアピールすれば良い。
- 自校のアピールが下手。
- 国試対策はある程度、人員を固定すると一貫性が得られると思う（傾向と対策など）
- 国家試験対策は主となる教員を中心にサブとなる教員で補う
- 国試対策として平成グループとしての模試を受験することにより全国的な規模で自分の位置、合格率を知る機会があることの入学希望者への周知。
- ・きちんとやれば良いと思う。

基準3 教育活動

- 今年の売りとして登録販売ゼミを週2回実施。
- 教員教育課程にも問題あり。
- 教員の若返りが必要。
- 公募必要かもしれない。公募したほうが良い。
- もっと教育の質を上げてください。
- 自由選択ゼミの形骸化を感じる。
- 参加している人間が限られている。
- <成績評価・単位認定について>常に掲示しておいては？
- <資格・免許の取得指導体制について>先に述べた、対策人員の固定化、教員の退職により手薄である。
- <教員・教員組織について>教科書通りでは不足を感じる。実践力が弱い。
- 登録販売ゼミなど卒後に生かせるゼミがあることを周知する。
- ・医療人教育だけではなく、社会人教育に力を入れる事はとても良いことです。

基準4 学習成果

- 1人治療院ではなかなか勉強（臨床）できない。
- 企業ではブラックな環境が多い。
- 学生のうちにどの道が適しているか把握し送る必要がある。
- カウンセラー等、外部講師に来てもらい自分の将来像を考えてもらう。
- 就職して離職多い。
例：1人治療院→受付ばかり。
大手→朝から最終電車まで勤務。できるようになったら店舗転開へ。
介護→業務内容がミスマッチ。
- 広報との連携が必要では？
- <就職について>広報とも。
- <資格・免許の取得について>そもそも安易に進級させるべきではない。
- 教員の新規採用を公募していないのであれば、公募することを行った方が、教員の資質向上にも良いと思います。

基準5 学生支援

- 中途退学者の対応について、学生だけではなくその親にも問題があるのでは。
- 学生との距離が近すぎるのも、ひとつの問題では？
- <学生生活>養護教員が「おかえりなさい」：禁忌です!!
学生が依存してしまうので、言うてはならないと進学校の養護教員から聞きました。
- 奨学金、学資ローンの説明はとても大切な事で「本当に理解できているのか？」確認するのは難しく、今の時代卒業して返済に追われてしまう事も多々あるので説明会で理解を高めるのは良いことだと思います。

基準6 教育環境

- 千歳JAL国際マラソン執行部とは良い関係が築ける。
- 先に述べたが、アマチュアにも
- <学外学習、インターンシップ等について>
学校外に出て、ボランティア、実習など行う事は学生にも良いことですし、青葉（学校）自体の宣伝にもなるので、どんどん行ってもらいたいです。
千歳JALマラソンボランティア継続すべきと思います。プロスポーツ現場での実習、そこまでのスキルがあるのか？（指導がわも含めて）

基準7 学生の募集と受け入れ

- 北海道全体では鍼灸師を目指す学生が増加傾向にあるが、柔整師を目指す学生が減少校にある。
- 近隣の中・高校生のクラブ活動に参加しては。
- うまくいっていない。
- 広報の勉強不足（鍼灸・柔整について）
- ・高校へ出向いての営業は大切だと思います。

基準8 財務

- 緊迫している。
- 青葉会のHPもつかって広報したら。
- 青葉会のHPに行きづらい。学校のHPにバナーをはる。
- ・新しい情報がないと見ない。

基準9 法令等の遵守

- 特になし

基準10 社会貢献・地域貢献

- ボランティアやりたいのか？教員が大変になってしまう面がある。
- 小さいマラソンボランティア（コース旗振り）は需要あり。（札幌市内）
- 札幌まつりのボランティア、今年参加する。
- 一般人向けに青葉で講演会やっては。
- ・JALマラソンのコンディショニング、地域のゴミ拾いの活動を行っていることの周知。